

6/22
朝日

男女平等 日本125位

過去最低 政治・経済で後れ

世界各國の政治や経済などの「男女平等」度合いを指数化した2023年版「ジェンダーギャップ報告書」を、世界経済フォーラム（WEF）が21日に発表した。日本は調査対象となった146

平等度
前年比
前年
今年
前年
主な国の中位
前年
146カ国対象
今年
146カ国対象

順位	今年	前年	主な国の中位	平等度
1	1	アイスランド	改善	△
2	3	ノルウェー	△	△
3	2	フィンランド	△	△
4	4	ニュージーランド	△	△
5	5	スウェーデン	悪化	△
6	10	ドイツ	△	△
7	7	ニカラグア	△	△
8	8	ナミビア	△	△
9	11	リトアニア	△	△
10	14	ベルギー	△	△
43	27	米国	△	△
105	99	韓国	△	△
107	102	中国	△	△
125	116	日本	△	△
146	146	アフガニスタン (最下位)	△	△

力国のうち125位（前年は116位）で、2006年の発表開始以来、順位が最低だった。▼2面=直視の時、5面=トップの理由は、報告書では、教育・健康・政治・経済の4分野を分析。男女が100%平等な状態に対し、日本の達成率は64・7%だ。教育や健康ではほぼ平等を達成しつつある一方、政治と経済の分野で後れをとる。

衆院議員の女性比率が

10%にとどまり、女性閣僚も少ない現状を反映した政治は、達成率が5・7%（世界138位）と低迷。経渉も、企業で役員・管理職の登用が進まない」とながら達成率は56・1%（同123位）と苦戦している。世界全体の男女平等への達成率は68・4%で前年から0・3%改善した。コロナ禍の影響で近年は女性の労働参加などが鈍り、後退していたが、コロナ禍前の水準に戻った。世界でも経済（達成率60・1%）と政治（同22・1%）の課題が大きく、WEFはいまの是正ペースでは、完全な格差解消には131年かかると試算している。国別で世界で最も男女平等に近い国とされたのがアイスランド（達成率91・2%）。14年連続で首位を堅持した。最下位はアフガニスタン（同40・5%）だった。